



3月号

平成30年3月26

# 桜花爛漫

郷土を舞台に 夢に向かい ともに歩む学校

心豊かで  
たくましい荘川っ子  
・考える子  
・思いやりのある子  
・元気な子

## 希望の種を蒔こう！

校長 水口 悟

### 雷乃声を発す（かみなり こえを はっす 春分・末候）

春の訪れを告げる雷が鳴りはじめるころ。恵の雨を呼ぶ兆しとして、喜ばれそう。（新暦では、およそ三月三十日～四月三日ごろ 日本の七十二候を楽しむより）

### ひとり歩きできる子が、若鷹として飛び立つとき！

一年を通して、ふるさとを深く愛しふるさとのすばらしさを学び続け、様々な場所でふるさとのよさを発信し続けてきた、みなさんの姿が思い浮かんできます。

- ・5月。小中学校で協力し、ユネスコエコパークのすばらしさを描いたうちわの作成。
- ・国語の学習を活かして制作したリーフレット。
- ・第21回目となる「新島研修」、新島で歌った「桜の下で」の合唱。新島の方が思わず「それは荘川桜のことを歌った曲ですか？」と聞かれたことを思い出します。
- ・真夏の新島、長栄寺の境内。一川先生と唄い舞った荘川の獅子舞。輝く空の下、甚兵衛さんと勘左衛門さんが「懐かしいな」「がんばっているな」と微笑んでいるような気がしました。
- ・ふるさと研修大会にて、支所長さんにお渡しした「荘川の未来が よくあるために」の8つの提言。一人一人の個性豊かなアイディアは、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりにきっとつながると信じています。
- ・新年を迎え、教育長さんのもとへ出かけた「新島研修の報告」。自分の言葉で生き生きと「海の子山の子交流」のすばらしさを語る姿が印象的でした。
- ・2月。真冬の荘川桜。二本の桜に向かって歌った合唱。二本の桜は、みなさんの歌をどんな風に受け止めてくれたのだろう。

自分の生まれ育ったふるさとを深く強く愛し、ふるさとの未来について夢を描くまでに育った君たちのことを本当に嬉しく頼もしく思います。8名が、個性豊かにひとり歩きする姿は、荘川小学校の誇り、荘川町の宝です。

### 忘れないでください。心をつなぐことを！

仲間を感じ合いながら歌い、まわりの人に感動を伝える美しい心。少ない仲間だからこそ学び得た、人を信じ、人と確かなつながりをつくる生き方を大切にしてください。

### 忘れないでください。考えをつなぐことを！

人工知能の発達。正解が1つではない時代。これまでに体験したこともない困難との遭遇。粘り強く自分の考えをつなぎ・人と考えをつなぎ、挑戦してください。

### 忘れないでください。めあてをつなぐことを！

「なりたい自分」をめざし、上手くいくときもいかないときも、めあてを宣言し振り返る毎日。夢や目標を持ち続けている人は、逞しく魅力的です。

### 忘れないでください。ふるさとをつなぐことを！

荘川桜が御母衣ダム湖畔に移植されて約60年。再び大地に根を張り、桜花爛漫に咲き続ける、荘川桜の生きる姿を忘れないでください。

保護者の皆様、地域の皆様、1年間子どもたちを学校を支えて頂きまして、ありがとうございました。幼かった8名の子どもたちをいつも支えてくださったおかげで、こんなにも立派に成長を致しました。次年度も、荘川の地域とともにある保小中一貫校を創造し続けます。宜しくお願い致します。